

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか		○		児童2名に対して職員1人以上を配置している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		エレベーターでの密を避けるため、少人数ずつ対応している
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			他店舗での研修を行い、評価をし合っている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎月の行事が固定しないように室内外どちらでも活動できるよう作成をしている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼・昼礼にて一日の流れや児童を確認している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			時間が取れない際は職員のツールで全体共有をしている
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度の個別面談を実施している
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	新型コロナウイルス感染症の影響で行えてない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら実施していきたい

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月写真入りの通信にて報告をしている
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	新型コロナウイルス感染症の影響で現在行っていない
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

職員による自己評価

A環境面

広々とした空間の中で支援できており、単位分けをしたことで、より個々の障害特性によって対応できるようになった。

B児童への支援内容

コロナ禍で外出先が限られていたが、その中でも予防徹底して行事を続けることができた。

単位分けしたことで、各児童のレベルに合わせた支援内容を提供しやすくなった。

C関係機関との連携

送迎時に学校での様子を必ず確認している。

必要に応じてケース会議に参加して、事業所での様子報告や他機関での様子をヒヤリングしている。

D保護者への説明責任・信頼関係

日々連絡帳アプリにて写真を付けて活動を報告し、毎月個別支援計画に基づいた評価も紙面にてお伝えしている。

E非常対応

半年に一回実施し、親御さんにも内容をお伝えしている。

事前に災害伝言板や広域避難場所をお伝えしている。

保護者による評価

A環境面

広いので子供が沢山遊べる。

苦手な子がいる時にも距離を取れるのが良い。

エレベーターが狭い。

B児童への支援内容

子供も楽しみにしています。

プログラムがたくさんあり子供が喜んでいる。

C事業所からの情報発信

送迎時やアプリなどで毎日細かく報告をしてもらっている。

写真で毎日の活動を確認できるのは嬉しい。

D非常対応

肢体不自由の子供をどのように避難するか心配。

事業所内での分析

【共通点】

- ・ 日々アプリで写真付きで報告があるのが良い。
- ・ 広いスペース、単位分けで色々な子供たちの対応ができています。
- ・ 行事の豊富さ、内容を評価いただけている。

【相違点】

前回同様、外部の子供達との交流に対するお声はあったが、コロナ感染症もあるので仕方がないと理解していただいている。

肢体不自由時の避難訓練方法への不安

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・ 豊富な外出行事。
- ・ お金の使い方や公共の乗り物の練習など、社会性を養う取組を実施している。
- ・ 毎月の評価して細かい報告を行なっている。
- ・ 日々アプリを使って写真付きで報告をしている。
- ・ 情報発信（報告書や SNS）

事業所の改善点

- ・ 非常災害時の対応について

事業所の改善への取り組み

特に肢体不自由時の避難訓練方法は、写真などを用いて避難訓練の様子を報告できるようにしていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

良い評価をいただけていることがわかり安心した。
より良いサービス提供ができるように意見を取り入れていく。

事業所名 パレットハウス児童デイサービス天王町
担当者 滝川 優